

子育て世代に急増の子宮頸がん

定期検診で 早期発見 早期治療を

発症年齢と出産年齢のピークが重なり「マザーキラー」と呼ばれる子宮頸がん。洛和会音羽病院の伊藤先生に、その現状と原因、検診の受け方をうかがいました。

◀ 女性の健康をサポートする産婦人科の医師たち



洛和会音羽病院
産婦人科 婦人科 部長
日本婦人科腫瘍学会
婦人科腫瘍専門医
伊藤 美幸 先生

年間1万人が発症し、若い世代では乳がんより多い

子宮頸がんは子宮の入り口部分(頸部)にできるがんで、年間約1万人が発症し約3千人が亡くなっています。30〜40代の若い世代では乳がんより多く、この世代では一番多いがんです。

初期であれば子宮を残した治療が可能ですが、自覚症状がほとんどなく、気づいた時は進行していたというケースが多いです。発見が遅れると子宮を摘出する手術や放射線治療、抗がん剤治療が必要となり、妊娠・出産が望めなくなったり、排尿障害などの後遺症が残ったりします。

原因となるウイルスは誰もが普通に持っている

子宮頸がんの原因はヒトパピローマウイルス(HPV)というウイルスで、これは性経験のある女性の50%以上が生涯に一

度は感染するありふれたもので、百数十種類以上の型があり、子宮頸がんを引き起こす高リスク型のウイルスへの感染は性交年齢に達する前のワクチンで予防でき、小学6年〜高校1年相当の女子は公費(無料)で接種することが可能です。ワクチンで予防できないウイルスもあり、定期検診による早期発見も重要となります。

検診による早期発見が生存率を高める

洛和会音羽病院は京都市がん検診の指定医療機関で、健診センターで子宮頸がん検診を受けることができます。検診は膣鏡を挿入して頸部の状態を確認するとともに、ブラシで粘膜をこすって細胞を採取して顕微鏡で調べるといいます。ブラシは小さく柔らかいのですが、膣鏡の感触に身構えてしまう方が多いです。最適なサイズのものを入肌温めて用いますので、どうぞリラックスして臨んでください。

自治体の補助により20歳以上の女性は2年に1回の検診が奨励されます。また、妊婦検診では、公費で負担されます。できれば、定期的な受診を習慣にしてください。

夢、そして誇り。この街で...
洛和会ヘルスケアシステム®

洛和会音羽病院
京都市山科区音羽珍事町2
075-593-4111(代)
http://www.rakuwa.or.jp/otowa/

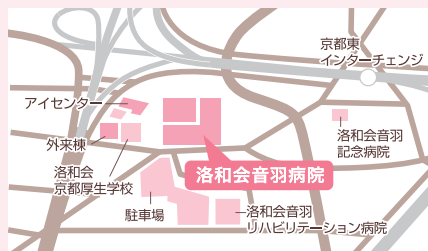
洛和会音羽病院



2021.10/17日に
乳がん検査が受診できます

時間	9:00~11:30
検査内容	マンモグラフィ 3,300円 ※加入の健康保険組合によって割引できる場合があります
事前予約	電話にて要予約
お問合せ	洛和会音羽病院 健診センター 0120-050-108

※各市町村の検診クーポンをお持ちの方は予約時に担当者にお伝えください。



JR・京阪・地下鉄「山科駅」から徒歩20分 京阪[四宮駅]から徒歩15分